

研究実施のお知らせ

2024年4月8日 ver.1.0

研究課題名

全国調査による高齢者骨折の治療実施と予防に関する研究

研究の対象となる方

2023年1月1日から2026年12月31日の間に当院で大腿骨近位部骨折と診断され治療を受けられた方

研究の目的・意義

日本はこれまでどの国も経験したことがないスピードで急速に高齢化が進行し、超高齢化社会となっています。それに伴い、介護が必要な人口の増加、介護費用の増大が予想され、その抑制は非常に重要な課題です。

その中で大腿骨近位部骨折は要介護に至る代表的疾患です。日本国内の整形外科関連施設を対象に大腿骨近位部骨折の治療数、治療内容が調査されるのは、この研究以外には存在しておらず、また年間10万例以上の症例登録は海外でも存在しないため、きわめて貴重な調査です。また、近年骨粗鬆症の治療にともなって発生する「非定型大腿骨骨折」が問題となっていますが、これまで医療施設ごとの報告しかなく、わが国全体での現状は不明です。

以上のことから、本調査では①大腿骨近位部骨折に関して発生頻度（性別・年齢・骨折型別）、受傷原因の詳細、手術までの期間、治療法の選択、入院期間を明らかとし、過去に実施した調査結果との比較によってわが国における経年推移を明らかとすること、②非定型大腿骨骨折の発生状況と背景因子との関連性を明らかとすること、を目的として実施します。

研究の方法

研究の対象となる方のカルテから次のデータを収集し調査します。

- 1) 年齢、性別
- 2) 骨折した年月日、初診日
- 3) 骨折型
- 4) 治療法
- 5) 治療材料

- 6) 入院日
- 7) 手術日
- 8) 受傷の場所
- 9) 受傷の原因
- 10) 退院日

上記のデータを調査票に記入し郵送で主研究機関に提供します。または電子データの登録によって提供します。

研究の期間

2023年1月1日～2026年12月31日

研究の公表

この研究から得られた結果は、医学関係の学会や医学雑誌などで公表します。その際にあなたのお名前など個人を識別できる情報を使用することはありません。

研究組織

この研究は次の機関が共同で行います。

共同研究機関：

聖隷浜松病院	整形外科	部長	森 諭史
横須賀共済病院	整形外科	部長	江畑 功
鳥取大学	医学部保健学科	教授	萩野 浩

調査機関

本学を含む全国約 3000 カ所の整形外科施設（日本整形外科学会認定研修施設、日本臨床整形外科学会有床診療所）

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、すでに提出されたデータの解析が行われている場合には、結果の公表を行うため情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

島根大学医学部整形外科学講座 内尾祐司
〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1
電話 0853-20-2242 FAX 0853-20-2239